

平成30年度 北海道立生涯学習推進センター研修事業
生涯学習推進専門講座（生涯学習推進会議） 事業報告

I 事業の概要

- 1 目的 本事業は、人づくりと地域づくりに資するための体制整備として、地域の関係者間の連携関係を強化するための知識や技術を習得するための講座を実施し、その講座の実施過程を通じて研修の企画・運営等に係る専門的な知識・技術を市町村教育委員会社会教育関係職員等が習得することを目的とする。
- 2 主催 北海道立生涯学習推進センター
- 3 期 日 第1回 平成30年6月25日（月）、29日（金）、7月5日（木）
第2回 平成31年3月14日（木）
- 4 会 場 かでる2・7
- 5 参加対象 市町村教育委員会社会教育関係職員等
- 6 参加状況 7名（夕張市教育委員会1名、千歳市教育委員会1名、美深町教育委員会2名、豊頃町教育委員会2名、中標津町教育委員会1名）
- 7 日 程

第1回

13:00		13:15	14:00		17:15	
受付	開会	講座について ・趣旨説明 ・講座の基本的な展開等		ワークショップ ○ 各地域の状況分析とプログラムのフレーム作り		閉会

第2回

13:00		13:30	16:00		17:30	
受付	開会	生涯学習推進講座実施報告会 ・実施概要 ・成果と課題等		ワークショップ ○ 次年度のプログラムの展開について		閉会

8 活動の概要

(1) 第1回「ワークショップ」

【進行】 道立生涯学習推進センター主査 尾山 清龍

【内容】 各市町村における生涯学習推進講座の対象者の状況の分析や講座の目的の設定の仕方を学習し、講座の開催計画、プログラムのフレームづくりを行った。

(2) 第2回 生涯学習推進講座実施報告会

【進行】 道立生涯学習推進センター主査 尾山 清龍

【内容】 各市町村における生涯学習推進講座の取組についてそれぞれの報告書をもとに発表、交流した。（※報告書は別紙）



(2) 第2回 ワークショップ

【進行】道立生涯学習推進センター主査 尾山 清龍

【内容】生涯学習推進講座報告会を含めた各市町村における生涯学習推進講座のふりかえりを行うとともに、次年度の活動に向けての取組やそれぞれの管内の教育局社会教育指導班との連携について確認した。

II 事業の成果

1 本講座参加者数 7名

2 アンケート対象者数 7名

3 効果

以下の項目について、事業後の向上の有無を聞いた。評価は「高まった4、やや高まった3、あまり高まらなかった2、高まらなかった1」として、表には、平均値を記載した。

	項 目	第1回	第2回
1	地域の担い手育成を目的とした事業の課題の抽出についての知識・理解	3.8	3.9
2	上記事業の目標設定についての知識・理解	3.9	4.0
3	上記事業の実施までの流れについての知識・理解	3.9	3.7
4	上記事業の展開案の作成についての知識・理解	3.7	3.1
5	上記事業の当日運営についての知識・理解	3.1	3.7
6	上記事業の評価についての知識・理解	3.3	3.7
7	地域の担い手育成の必要性についての意識	3.5	4.0
8	担い手育成事業の実施の必要性についての意識	3.6	4.0

4 変容

以下の項目について、第1回会議の事前の自分自身の状況と第2回会議後の状況を向上の有無を聞いた。評価は「高い4、やや高い3、やや低い2、低い1」として、表には、平均値を記載した。

	項 目	事前	事後	差
1	地域の担い手育成を目的とした事業の課題の抽出についての知識・理解	2.4	3.6	1.2
2	上記事業の目標設定についての知識・理解	2.4	3.9	1.5
3	上記事業の実施までの流れについての知識・理解	2.3	3.9	1.6
4	上記事業の展開案の作成についての知識・理解	2.3	3.6	1.3
5	上記事業の当日運営についての知識・理解	2.4	3.9	1.5
6	上記事業の評価についての知識・理解	2.3	3.7	1.4
7	地域の担い手育成の必要性についての意識	3.3	4.0	0.7
8	担い手育成事業の実施の必要性についての意識	3.4	4.0	0.6

5 感想等

- ・（第1回会議後）状況分析とプログラムのフレームづくりを通し、具体的な事業の概要イメージをつかむことができた。
- ・（市町村での講座開催後）相手に話すとき、理解しやすいようにかみ砕いて説明することを心掛けないと自分の中で「説明した」という自己満足になってしまうので、まわりの人たちの表情や会議内の雰囲気を見て感じながら話したい。
- ・（市町村での講座開催後）事業の趣旨に賛同して集まった人たちであっても、様々な思いや願いがあることに改めて気づかされた。その思いを生かせるような事業の運営方法などを検討していきたい。
- ・（第2回会議後）何よりも自分のスキルアップの研修になった。事業の都度アドバイスをもらったので、よい機会になった。